

平成 15 年 8 月 25 日

各 位

東京都渋谷区渋谷 1 丁目 17 番 8 号  
日本エンタープライズ株式会社  
代表取締役社長 植田 勝 典  
(コード番号 4829 ヘラクレス市場)  
問合せ先 経営企画・IR 室長 中村次郎  
(<http://www.nihon-e.co.jp/ir/index.html>)  
(TEL 03 - 5774 - 5730)

## 業務提携についてのお知らせ

この度、当社は、ソフトウェア販売等を手掛ける株式会社セラータムテクノロジー  
(コード番号 4330 ヘラクレス市場)と業務提携を締結しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 業務提携の内容

株式会社セラータムテクノロジーは、デジタルコンテンツの複製、保存、管理、配信、共有に関する独自の技術を世界規模で保有している会社であり、このたびの提携内容は、デジタル画像分野におけるものです。具体的には、当社が携帯電話向け IDK (携帯待受画像配信システム)の販売を行うことになりました。今後は、製品の拡販に努めるとともに、相互に品質向上・機能強化や、製品を活用したサービス展開を推進してまいります。

#### 2. IDK (Image Dispenser for K-tai)について

株式会社セラータムテクノロジーの PixelLive 技術をベースに携帯関連の技術ベンチャーである株式会社フラクタリストと共同製品として開発を行ったもので、サーバー上の画像から各社携帯端末にあった画面サイズ・色数の待ち受け画像を生成し、各デバイスからのリクエストに応じて画像を送出する配信・管理システムであります。デバイスごとのプロファイルを、データベースで管理したものとリンクすることで、各社新デバイスが発売された時にも、即座に対応でき、メンテナンス性の高い製品になっています。保存される画像は、PixelLive フォーマットですので、画質も十分に確保されています。高精彩画像データが一枚あればすべてのキャリア・端末別の配信画像をスマートに作成する事が可能です。

#### 3. IDKを導入するメリットについて

携帯コンテンツ画像の更新が楽になります。新しい画像を登録して、コンテンツからはその URL を呼び出すだけで済みます。従って、画像の専門知識が必要無いため、初心者の方にも簡単に更新ができます。

新規の携帯端末が発売された場合にも、新しいプロファイルをダウンロードして適用するだけで、全画像が自動的にコンバートされ、適用開始されます。

自社コンテンツに適用する場合、画像管理サーバーを共通システムとして 1 台設けることで、自社の画像を一箇所にまとめることができ、サーバーの節約ができます。

以 上